

パラグライダーにも威力を発揮するピトー管モデル

まだピトー管を使用する大きなアドバンテージを体感するチャンスに触れたことのない全てのパラグライダーパイロットへの素晴らしいニュースです。

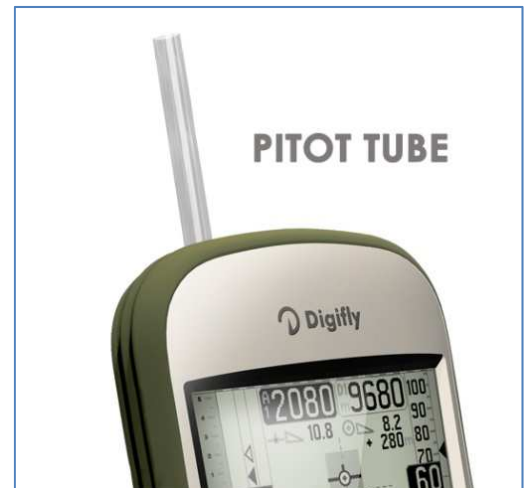
デジフライ社が AIR BT ピトーで採用している最新の特別な圧力センサーによって、ついにパラグライダーでもピトー管の使用で可能になる今までにないアドバンテージの恩恵を受けることが出来るようになったのです。

かつて、広く知られていた、パラグライダーでピトー管は使えないという考えは、以前までの世代のセンサーではパラグライダーのような低速で飛ぶ翼で必要となる低速での感度が得られず、ピトー管からの情報が全く信用できないので、パラグライダーでは使えない、という事実から来ています。

デジフライで採用した最新のセンサー群はこれらとは異なり、超低速域であっても極めて高感度で正確です。(時速 5km/h でもしっかり表示し、その精度は 0.1 km/h 単位です。) さらにデジフライ社が開発した独自の「自動調整」アルゴリズムのおかげもあって、検知する気流を考えてピトー管をわざわざ翼の特殊な位置へ取り付ける必要がなくなり、ハーネスにつけて完璧に使用することが出来るようになりました。



写真：マニユエル・ドンディ



ピトー管システムにしかない代表的なアドバンテージの中で我々が最も重視するものに、スピード トゥー フライ機能があります。これはパラグライダーのように比較的滑空性能が低い翼にとって極めて重要です！実際、この機能は、いかなる瞬間においても、安全にしかも最高の性能を引き出すフライトを、さまざまな飛行環境において、最適な飛行速度を正確に教えてくれるのです！

次に、AIR BT ピトー が可能にしてくれる全ての機能を列記します。

- 対気速度 (表示飛行速度/真対気速度)
- スピード トゥー フライ (最適滑空速度)
- 速度差

この機能は、360度旋回を行わなくてもいかなる時でも、迎え風成分がどれくらいあるのかを教えてくれます。この機能は、着陸で高度処理中、特に、もう風向を確認するための360度旋回をする余裕のない高度になっているときに、とても有効です。AIR BT ピトーなら、「速度差」の表示を見るだけで、一目で向かい風で飛んでいるのか追い風なのか分かり、着陸する方向も正確に判断できるのです。

- ピトー管支援の風速計

新世代のピトー管機能によって、風向・風速の判定機能も、より早く、精確になります。

- トータルエネルギー補償のあるバリオ機能 (TEC)

トータルエネルギー補償機能があることによって、AIR BT ピトーは、本当にサーマルに入って上昇しているのか、飛行速度が変わったから上昇しているのか、を明確に見分けることが出来ます。これで、飛行速度を変えたことでバリオの上昇音が鳴ることは無くなり、「うそ」のサーマル情報は消え去りました。

- 失速警報
- マクレディー機能と等価マクレディー機能
- ネットバリオ
- ポーラー機能